

あいらの印刷

9

2009.9
No.454



南アルプスのコスモス畑

も
く
じ

巻頭言 「仕事観と経営観」 / 副理事長 木野瀬吉孝	3
愛知県印刷産業団体連絡会 元気の出る「セミナーと交流会」で、不況を打破 ...	4
「Japan Color認定制度」がスタート	6
【ご存知ですか!】「ジャグラBB」	8
身近な催し物のお知らせ	9
訃報 大河内信行氏逝去	10
印刷産業界の新しいキャッチフレーズ	11
セミナー:「下請代金法トップセミナー」開催案内	12
新刊書案内 / 事務局だより	12

巻頭言

「仕事観と経営観」

副理事長 木野瀬 吉孝

先日、中部大学で学生を相手に話をする機会がありました。私がお世話になっている中部大学幸友会（大学後援会）を通じて、これからインターンシップに向かう学生たちに、経営者の立場で日本経済の現況や社会の厳しさを生の声で伝えてほしいと依頼されたため気軽にお受けしましたが、その後、私の講演が単位としても認定されている授業だと聞き、少々緊張する時間となりました。また、「人はなぜ働くのか～仕事観なき就活はするな～」という大仰なタイトルをつけてしまったため、学生諸君が引いてしまうのではと危惧していましたが、想像以上に皆さん（150名）が熱心に耳を傾けてくれ、こちらの方が感激するほどでした。

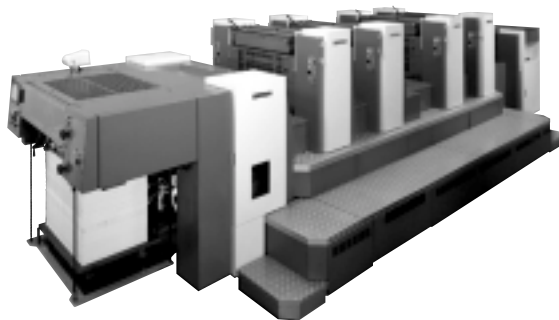
講演で強調したのが、就職難の中での会社選びの考え方です。選考に残りたいがために企業に媚びへつらうことなく、なぜこの企業を選ぶのかを明確にして、企業に選ばれるのではなく自らの意思で将来の道を選択するという姿勢を忘れてはならないとお話しました。後日、学生全員からレポートをいただきましたが、真摯な内容のものばかりで、改めて就職戦線の厳しさを彼らが肌で感じているのだと実感した次第です。

この授業には、実はもう一つのミッションが与えられていました。それは、昼食後の授業なので学生が眠ってしまう危険性があるので、

眠らせないよう配慮してほしいというものです。幸い2～3名を除いて、最後までほとんどの学生が眠らずに聞いてくれたのですが、私なりに工夫をして学生たちが関心を寄せそうなテーマも取り入れてみました。その一つが、得意の(?)恋愛論を就活にからめたもので、「健全な恋愛と健全な就活は同じ」という項目をレジュメに入れ、パワーポイントで解説しました。つまり、恋愛でも就活でも自分自身を必要以上に飾りすぎて、お互いが嘘を積み重ねてだまし合いをしていると、いずれ破局を迎えるという内容です。特に恋愛の話に力を込めたせいなのか、学生のレポートの中には改めて恋愛の話を聞きたいというものが何枚もありました。壇上で偉そうに話したので、私を恋愛の大家と思いきんだ学生がいたようです。

いずれにしても大変な社会を迎えています。若者が夢を描けないような世の中には決してしてはならないと思います。学生に仕事観を持って就職活動に取り組みと叱咤激励すると同時に、受け入れる企業がしっかりとした理念を持つことが大切になってきています。とりわけ経営者が、何のために企業経営をするのかを明確にしていなかったら、今いる社員ばかりではなく、これから迎える社員も不幸にしてしまうことを肝に銘ずべきと考えます。

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA
1919

SHINOHARA
75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022
TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

元気の出る「セミナーと交流会」で、不況を打破

愛知県印刷産業団体連絡会
19団体より48名が参加



挨拶する高井昭弘会長

愛知県印刷産業団体連絡会（高井昭弘会長／愛印産連）は、8月11日午後5時より、名古屋国際ホテルにおいて、平成21年度セミナーと交流会（テーマ「不況下で元気の出るセミナーと交流会」）を開きました。このセミナーと交流会は「暑気を打ち破り、この不況を乗り越えること」を目的に、企画・開催されました。愛知県印刷工業組合はじめ、15団体・組織より48名が参加しました。

セミナーと交流会の司会は、都築延男副会長（ジャグラー愛知・支部長）が務めました。

岩崎達夫副会長（愛知県製本工組・理事長）の開会の辞に続き、高井会長（愛知県印刷工組・理事長）が挨拶に立ち、参加者に謝意を表した後、次のように述べました。

「私は常日頃、我々印刷産業が健康でなければならぬということを行っています。愛印産連を構成する19団体が、すべて高収益を上げるような企業体をつくっていただきたいと思えます。業界全体が良ければ、何らかの形でご利益があります。若い人材が入ってくるような産業にするためにも、高収益を上げていただきたいし、幸せな事業継続のためにも、無益な競争は止め、高収益の上がる経営をしっかりとやって行くべきです。そういう意味で、今回のセミナーではタイムリーな話が聞けるのではないかと思います」。

引続きセミナーに入り、㈱大平経営会計事務所の大平吉朗所長（公認会計士）が「不況を乗り越えるコツ」をテーマに講演しました。

（セミナーの内容は、別項にまとめましたので、一読ください）。

セミナーは、川本嘉博副会長（GC中部・理事長）の謝辞をもって終了しました。

交流会は、午後6時より開催され、高井会長の挨拶に続き、野崎伸也名古屋洋紙同業会会長の発声で乾杯し、交流会に入りました。交流会では、親睦と情報交換に華を咲かせ、参加者全員が元気を取り戻していました。

セミナー

「不況を乗り越えるコツ」

講師：大平 吉朗 所長（公認会計士）
㈱大平経営会計事務所

講演の中で大平所長は、最初に現在の金融・経済危機が、製造業やサービス業などにどのような影響を与えているかを具体例を示しながら紹介し、「影響のない業種はありません。いかなる業種もそういう（大幅減産、赤字計上、売上減）状況です」と厳しい現状を指摘しました。

また、大平所長は、短期的には「業績不振」、長期的には「後継者なし」を背景に、「日本の企業は法人企業・個人企業を問わず、数年後には現在の半分くらいになると思われます」という見解を示す一方で、「逆に言うことはチャンスなのです。但し、大企業でさえ苦労しているのに、中小企業が何もしないで勝ち残れるわけがありません」と強調し、当面、生き残る条件として「儲けること」「資金余裕を持つこと」の2点を挙げました。

更に、大平所長は、「現在の不況を『世界同時不況』と呼んでいます。『世界恐慌』という言葉は使われません。しかし、（現在の不況は）世界恐慌なのです」と前置きした上で、「『世界恐慌』を乗り越える経営戦略」として、次の3つの必要性を指摘しました。

経営者の姿勢

黒字決算の実践

資金余裕の確保

このうち、黒字決算の実践の着眼点として、「『小額な経費の節減』では『黒字決算』はできない」、「『3年間平均の経常利益』を必ずプラスにする」、「『企業存続』の必要条件 結果として法人税を支払うことが必要」、「『粉飾決算』（水増決算）は論外」を挙げ、それらの実践のための条件、努力要点など、具体例を示しながら説明を加えました。

講演の最後に大平所長は「『良いと思ったら』すぐ実践することの必要性を説くとともに、「一つの実践で経営が見違えるようになることはありません」、「経営は『良いと思うことを』一つずつ実践するしかありません」、「実践してみて『ダメと分かったら止めれば良い』のです」とアドバイスがありました。

【編集部から】

大平講師の講演の中に、大変参考になる言葉がいくつ

かありましたので、ピックアップしてみました。

経営者の姿勢

- 1) 浮き沈みは世の常 / 必ず景気はよくなる、円安・ドル高もくる、絶対に必要な企業の存続
- 2) ダーウィンに学ぶ / 最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である
- 3) 99%は経営者の責任 / 経営が存続できるか否かは、経営者の意思決定で決まる
- 4) 幸福を呼ぶ決断の2大条件 / 天地自然の理に従う、法令を順守する
- 5) 起死回生の妙薬はない / 良いと思うことを一つずつ実行する方法以外にはない
- 6) 過去30年間は今3か月 / 経営環境の変化が速い
- 7) 合言葉はチェンジ / 時代に合わせて経営を変えるしかない
- 8) 情報が勝負 / 毎日、新聞に目を通す
- 9) こだわりを捨てる / こだわりはチェンジするブレーキになる、人の目を気にしない、人の噂を気にしない、人との付き合いにこだわらない
- 10) 企業存続の2大要素 / 黒字決算の実践、資金余裕の確保
- 11) 会計の基礎がわからない経営者は生き残れない / 会計を知らないと、経営の努力要点が分かりにくい 猫に小判と同じ。黒字決算「損益計算書」の基礎を丸暗記する、資金余裕「貸借対照表」の基礎を丸暗記する

黒字決算の実践

- 1) 黒字決算実践の条件 / 費用より収益を大きくする
- 2) 売上高の増加 / 着眼点《販売なくして事業なし》何としても《我が社に必要な売上高》を確保する、安く・早く・高品質の実現 値段は安く、供給は早く、品質は良く、全員販売員制度の実践 『営業力』は『販売員数』に比例する、『ランチェスター戦略』の教え 兵隊は多い方が圧倒的に有利
- 3) 安く仕入れる / 2社以上から見積もりを取る、現金仕入（振込み払い）
- 4) 人件費の圧縮 / (1)着眼点 人件費の圧縮は経費節減の目玉、同族関係者給与は別枠で考える、(2)社員数のコントロール 社員1人の圧縮は、年間300万円から500万円の節約になる、パート・アルバイト・シルバー・派遣の活用（パートでできる仕事を社員に行わせない）、全員直接稼ぎ人制度（間接費ゼロ） 経理の外注化・一人二役以上・組織図を廃止する（伝統的な考



講演中の大平吉朗講師

え方と決別する)

- 5) 就業規則の変更 / 雇用の確保が最重要点、倒産すれば全社員の雇用を失う、労働条件変更のチャンス
- 6) 労働条件の変更 / 国際競争力のない企業は没落する、年間休日日数を最低にする、休日は年次有給休暇の消化で行う、退職金制度の改正、役付手当の減額、割増手当の圧縮、ワークシェアの導入 資金余裕の確保
- 1) 資金余裕確保の条件 / 入金より出金を少なくする
- 2) 借入力の強化 / 黒字化の実現 法人税の支払いが必要条件、自己資本比率20%以上の確保 増資をする、債務超過は論外 直ぐ増資をする
- 3) 設備投資を慎重に / 企業の宿命を理解する = 売上高増大（企業規模拡大）の永久必要性 企業の宿命、拡大するしかない = 長期的に生き残るためには、企業規模を拡大するしかない、知らずに行う潰れる努力 = しかし、企業は大きくするほど、拡大が重荷になる、設備投資 = 結論として、企業規模の拡大は必要最小限度に抑えることが賢明である
- 4) 借入金返済の適正化 / (1)着眼点 支払手形を前提にする 倒産しない企業になる、(2)手形割引よりも借入金を選択する（受取手形を手持ちする）、リースよりも借入金を選択する（リースは支払の繰延べができない）(2)借入金の返済能力 税引き後利益 + 減価償却費、(3)返済能力を超過した返済 資金余裕がなくなる、(4)適正な返済を守る要点 返済期間を長期にする、返済したらまた借りる（借入れていることが前提）、適正な借入金の金額を守る 健全な目安は、1年間の限界利益金額

「Japan Color 認証制度」がスタート

印刷会社及び発注者における“品質基準”共通の指標 「Japan Color」

「Japan Color 認証制度」について

(社)日本印刷産業機械工業会(小森善治会長)では、オフセット枚葉印刷における標準印刷色「枚葉印刷用ジャパンカラー2007」を基準とした「Japan Color認証制度」を推進中で、平成21年中に認証企業第一号の誕生を目指しています。この制度は、ISO国際標準との整合性を図り、日本の標準的な色基準であるジャパンカラー基準に基づいて、適切に印刷できる印刷会社などに認証を行うもので、当面は、印刷会社300社の認証を目標としています。

この程、ロゴマークも決まり、本格的な活動に入るとともに、更なる啓蒙と普及を進めています。

「Japan Color」と「Japan Color認証制度」について、紹介します。

「Japan Color」の概要

日印機工では、(社)日本印刷学会が制定したオフセット枚葉用印刷における標準印刷色「枚葉印刷用Japan Color 2007」(以下、「Japan Color」という)を基準としたJapan Color認証制度(主に印刷会社向けの認証)を立ち上げ、平成21年度中に第1号の企業に対する認証を目指しています。

Japan Colorは、印刷技術の標準化を推進し、印刷品質の安定と生産性の向上を目指すツールで、印刷会社及び発注者の“品質基準”共通の指標となるものです。

従来、出来上がった印刷物のよし悪しはお客様の目によって決められており、明確な基準がない中で、印刷物は作成されています。印刷物の発注者、デザイナー、カメラマンなどからの色再現の要求に、印刷会社は度重なる修正や刷り直しで対応しているのが実情です。このような状況を生じているのは、印刷物作成に際しての標準的な基準がなく、認証する公の機関がないことが大きな要因となっています。

そこで、発注者がJapan Colorで指定した通りの色が、



「Japan Color」認証ロゴマーク

田口雅氏(株)シーシーエス社)の作品。「正方形の持つ、安定・基準・正確などをイメージした中に、JCを入れ込みました。JAPAN COLORが日本の色彩の確実でゆるぎないスタンダードとなるようなロゴマークです。CMYKの色展開と、はっきりした書体で、縮小しても見やすく、また、他のマークと併列しても使用しやすいマークにしました」とコメント。

適切に印刷会社で再現されることを一般化する基準を策定したのが、「Japan Color認証制度」です。また、同認証を受けた印刷会社は、Japan Color認証のロゴマークなどの使用が可能になり、Japan Colorでの印刷が適切に行えることを対外的にアピールできます。更に、デジタルカラープルーフやデジタル印刷機などへの認証を行う制度も併せて立ち上げることで、色に関する実用的な統一基準を幅広い分野で利用可能になるというものです。

将来的には、DDCPとカラーモニターの色基準をJapan Colorにすることにより、情報ギャップのないカラーワークフローの構築が期待できます。これが実現すれば、デバイスに依存することなく、シームレスな印刷物の作成が可能となります。産業界及び一般社会の中で、先進的な業界と評価され、印刷産業機械業界の振興として注目されます。

「Japan Color」認証制度の背景・目的

印刷に関連する社会的コスト低減の必要性

印刷データや文章についての打ち合わせなどは、インターネットを介したやり取りで済ませることが可能になっています。ところが、印刷会社・印刷機器・技術力などの違いによって、色に関しては、ばらつきがでてしま

います。特に、色校正については、実際に刷り上がった現物を見て確認するという作業が欠かせませんし、現在でも続いている状況にあります。

この確認作業は、実際にJapan Colorの色を正しく再現できているかどうかの確約がないため、おきている状況だといえます。発注者は、印刷会社にJapan Colorでの印刷を依頼します。印刷会社は、Japan Color認証工場に正しいデータを送付すれば、色校正などの確認作業を省いても、Japan Colorレベルでの印刷が可能となることを目指しています。

Japan Colorでの印刷を行うことにより、日々作られる大量の印刷物と、その色校正に伴う人の動きや、デジタルカラープルーフなどの校正用印刷物の配送にかかる膨大な経費、及び、配送に伴う二酸化炭素が削減可能となります。またこのことは、平成19年度の環境白書・循環型社会白書においても提唱されています。低炭素社会の実現に向けて、取り組まなければならない緊急の課題でもあります。

色に関する実用的な統一基準の必要性

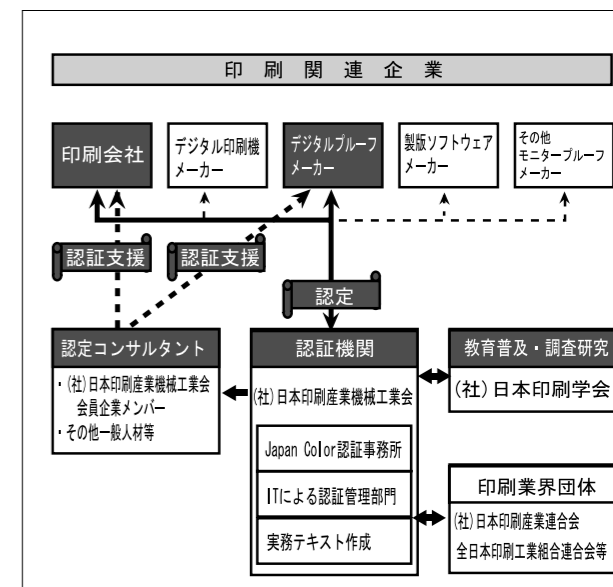
Japan Colorは現在、(社)日本印刷産業機械工業会の会員企業である印刷機器メーカーと、その販売先である印刷会社が主に利用している規格です。しかし、色に関する社会的な利便性を高めるためには、デジタルカラープルーフメーカーやデジタル印刷機メーカーなど、日印機工の会員に限定されることなく、幅広い分野でJapan Colorが利用できる基盤作りが必要です。

出力する印刷機器ごとに色がかけ離れている現在の状況では、デザイン作品やアート作品を、作者が意図した色で刷り上げることは難しい。このデザインや、アートの現場で用いられる色と、印刷時点で色が大きく変わるという問題を解消するため、印刷機器に対する認証制度として機器認証制度を立ち上げています。

デザイナーや芸術家が、印刷物に対する余計な心配をせずに、スムーズに作品制作に集中できる社会を実現するためには、印刷会社向けの認証だけではなく、デザインの現場で用いられていますデジタルカラープルーフやデジタル印刷機などの機器に対しての、Japan Color認証制度を早期に策定する必要があります。

Japan Colorの品質保証の必要性

Japan Colorについては、一定の普及が進んでいる段階にあります。ただし、Japan Colorに関して個別印刷



会社の能力などについての認証制度がないため、実際に「Japan Colorでの印刷が実現できているかどうか」、「一定の印刷品質を保っているか否か」について確認できない状況が続いています。Japan Color自体の信頼性を高めるためにも、Japan Color準拠で印刷されたものに対しては、一定の品質を保つ仕組みが必要になります。

日印機工の役割

これまで日印機工では、日本印刷学会と共同で、Japan Colorの様々な活動を進めてきています。また、今後においては、国内の印刷産業機械の振興を目的とした工業会の役割として、印刷産業機械メーカーや印刷業界団体、日本印刷学会などからの協力を得ながら、中立的な立場で、印刷実務に沿ったJapan Color認証制度を策定するのが適切であると考えています。

「Japan Color認証」における推進

Japan Color認証制度は、教育普及・調査研究の分野を(社)日本印刷学会が行ない、認証機関として日印機工が実施します。両者は、情報共有・情報交換などを行い、国内においては、(社)日本印刷産業連合会や全日本印刷工業組合連合会などの印刷業界の関連団体と連携しながら、国外においては、ISOと整合性を図り、印刷業界全体のボトムアップを目指します。

Japan Color認証制度は、まず、印刷会社を対象とした認証制度を立ち上げ、それとほぼ並行して、デジタル

株式会社 **イノウエ**
Inoue

〒462-0854 名古屋市北区若葉通4-18-1
TEL 052/811-8211 FAX 052/811-3011
H.P. http://www.k-inoue.co.jp
E-mail: net@k-inoue.co.jp

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社
メイカミ
名古屋紙商事株式会社
社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL 0568 28-2049

同業者のための印刷工場

- ◎ウインドウズもマックも印刷します!
- ◎シルバーマスターで買物もお任せ!
- ◎印刷から製本まで自社一貫体制!

大日印刷株式会社
0564-62-8461(代)

幸田工場/額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463
岡崎本社/岡崎市福岡町字南藤六26-6 TEL(0564)51-9027(代)
http://www.sk2.aitai.ne.jp/ dainichi/ E-mail:dainichi@sk2.aitai.ne.jp

お役に立てる印刷機材の総合商社

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えます。
3世紀にわたるご愛顧をばげみとして新たな未来へー

- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●その他印刷諸材料

盛功社は120年
株式会社 **盛功社**
〒461-0014 名古屋市東区横木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

ブルーを対象とした認証制度も立ち上げます。その他の機器やソフトウェアなどに対する認証制度は、暫時実施していく予定です。なお、この制度を支援する「Japan Color認証コンサルタント制度」についても設立を予定しています。

印刷業界全体のメリット

(1) 印刷会社のメリット

品質の安定性 / 同品質を安価にかつ早く制作することができる

コストダウン / 印刷回数やヤレ（製本する工程で無駄になった用紙）の減少、インキ量の削減、作業工程・制作工数の減少、輸送のコスト削減、機器トラブルによる機械損失の減少などによって、生産性向上により納期の短縮が期待できる

企業イメージの向上による契約上の利点 / Japan Colorの印刷物の生産ができることで、品質保持能力、技術力、先進性をアピールできる。このため、発注者からの信頼度が高まり、更なる受注拡大が見込まれる

(2) 印刷機械メーカーのメリット

印刷会社がJapan Colorを正確に再現していくために、印刷機器のメンテナンス・クリーニングなどについても高い水準で保っておく必要があるため、機械メーカーにとっても、既存印刷機器のトラブル減少、新規受注及び買い替え需要の喚起などのメリットがある

認証制度のコンセプト

(1) Japan Color認証制度のコンセプト

比較的難易度の高い認証制度とする / 中小印刷業の中でも、比較的力のある企業が取得できる制度とします。認証制度を取得することによって、印刷の品質保持力・技術力が高いとみなされる一定の権威をもつ制度とします。

認証基準については、以下のごとくです。

【標準印刷認証】印刷会社として達成すべきJapan Colorに沿った基準

【マッチング認証】標準印刷認証を上回り、カラーマネジメントを組み込んだ基準

具体的には、印刷実証を実施し、認証基準の妥当性・適切性・有効性などを検討して詳細な骨子案をまとめ、ワーキング委員会・策定委員会の審議を経て決定していきます。デジタルカラーブルーやデジタル印刷機などの機器への認証も行います。デジタルカラーブルー、デジタル印刷機、ソフトウェアなどの機器やソフトウェアに対する認証などについても順次検討していきます

(2) 実現にあたっての方策

認証のターゲット / 企業認証については、CTP所有の印刷会社をターゲットとします。機器・ソフトウェア認証については、デジタルカラーブルー、デジタル印刷機、製版機械、ソフトウェアなどを対象とします

企業認証の際のチェック項目 / 認証の際のチェック項目は、印刷により刷り上がった現物（印刷物）、印刷のプロセス管理の2点とします

【ご存知ですか!】
「ジャグラBB」

印刷業界専門 のインターネット放送局

印刷4団体合同キャンペーン

視聴料 6,000円 / 年

ひと月あたり500円で、全番組見放題

地理的、時間的な要因を超越し、「情報格差」を解消するために、2006年に開局した「ジャグラBB」は、「何時でも、何処でも、自己研鑽」というコンセプトのもと、ブロードバンドに接続したパソコン一つあれば、北海道から沖縄まで何処にいても、空いた時間に、講演会やセミナー映像を試聴できる、「印刷業界専門のインターネット放送局」です。

2008年11月に、全日本印刷工業組合、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会、全日本製本工業組合連合会、(社)日本グラフィックサービス工業会の4団体で、「インターネット放送のあり方に関する意見交換会」を開催し、検討を重ねてきました。その結果、2009年6月末まで「ジャグラBB業界活性キャンペーン」を開催し、各団体に所属する会員企業は、入会金無料、視聴料年間6,000円で全ての番組を見ることができるようになりました。

また、7月末に再度検討が行われた結果、キャンペーン期間を9月末まで延長し、更なる加入を促進することになりました。

これに合わせ、この程、期間限定で、無料視聴できるIDとパスワードが当組合にも届きましたので、皆さんに視聴いただきたくご案内をします。

【ジャグラBBの内容紹介】

「ジャグラBB」は、以下の6つのカテゴリーの番組を24時間配信しています。

- 1) 経営管理 / 経営幹部や各部門の管理職を対象に、経営戦略構築、リーダーシップ、人材労務の基礎知識、実務スキルに関する情報
- 2) マーケティング / 営業・企画部門を対象に、ビジネス事例、販売促進、プレゼンテクニックなど、セールスとマーケティングに関する情報
- 3) スキルアップ / 生産部門を対象に、DTPやWeb関連ソフトのトレーニング (eラーニング)、トラブルシューティングなど、制作スキルに関する情報
- 4) CSR / 経営幹部・管理職を対象に、リスクマネジメント、個人情報保護、知的財産権、環境への取り組みなど、企業の社会的責任に関する情報
- 5) 商品技術情報 / 印刷やIT関連の最新テクノロジー、新製品情報や業界動向など、印刷会社経営に関わるハード・ソフトの商品技術動向
- 6) ニュース・特集 / 「週刊ジャグラニュース」をはじめ、展示会レポートや業界人インタビューなど、印刷

会社経営に関わるテーマを幅広く取り上げる。

【ジャグラBB番組紹介】

「週刊」ジャグラニュース

「ジャグラBB」の看板番組。毎週火曜日、ジャグラ本部から各種情報を配信。官公庁情報、経営、マーケティング、書籍紹介から、世相がらみの問題まで、ジャンルにとらわれないホットなニュースを取り上げている。

「月刊」景山史枝のDTPニュース

「ジャグラBB」の看板番組。ジャグラ直営・DTP&Webスクールの景山史枝講師が、DTP / 印刷技術からデザインまで、クロスメディア時代の印刷人に必要な情報をお届けする月刊番組

「シリーズ」人事労務トラブル110番

人事労務の問題をドラマ仕立てで解説する人気シリーズ。「#22=そんな賃下げはないでしょう。おとなしかった社員達が猛反発!」「#45=それってセクハラ、それとも個人指導!?!」「#60=健康診断の結果も個人情報保護?」などを配信中

「シリーズ」企業ルポ・株式会社吉田印刷所

注目の印刷会社を取材する人気シリーズ。企業ルポの第8弾。社内工程の標準化を行い、オフセットカラー印刷の大幅なコスト削減を実現。仕様・発注条件などをオープンにし、パッケージ化した印刷発注システム「特売プレス」で躍進する同社の企業挑戦に迫ります

誰でもわかるInDesign CS2 (全3回)

新社会人ビジネスマナー教室 (全3回)

印刷会社のための知的財産権入門 (全3回)

勝ち抜く提案プレゼンの極意

身近な催し物のお知らせ (愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
9月27日(日)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会 「平城遷都1300年の奈良・薬師寺法話とウォーキングの旅(日帰りバス旅行)」 参加費 大人1人3,000円 子供1人2,000円 座席と昼食が不要な幼児は無料です 定員200名
10月2日(金) 19:00~ 20:30(予定)	事業・行事 第5回 印刷寺子屋 参加費 無料 定員 30名 他 詳細調整中
10月30日(金) 11:00 ~12:00	事業・行事 平成21年度 永年勤続優良従業員表彰伝達式 ところ 愛知県印刷会館 3階 会議室 会長及び理事長表彰(10年以上表彰) 県知事表彰(15年表彰)
平成22年 1月13日(木)	事業・行事 平成22年 新春印刷と関連業界新年互礼会 ところ 名古屋東急ホテル 詳細は調整中

身近な催し物のお知らせ (関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
10月9日(金)	事業・行事 全印工連フォーラム2009 テーマ 「金融危機後の米国印刷産業の動向と新たな挑戦」 通訳付講師 米国印刷工業会 会長 マイケル・マーキン氏 ところ 東京ビッグサイト会議棟 6階会議室 (東京都江東区有明3-21-1) 会費 5,000円(テキスト料込)

印刷会社のための外部人材有効活用講座 (全4回)
あなたの会社の売上を3倍にする方法 (全3回)
バリアブルDBに仕組みづくり
「シリーズ」コロバBiz


ジャグラBBの視聴にはIDとパスワードが必要です。下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 愛知県印刷工業組合(担当 高屋)


供花・枕花 会員特別価格

～こころを贈る～

※写真はイメージです。



枕花 一对
会員価格
21,000円⇒**18,900円**



供花 一对
会員価格
15,750円⇒**14,175円**

※写真はイメージです。

すべて 税・送料込み 価格です。(市内届けのみ)

セレモニーホールのご案内 ※順不同

- 昭和区 八事セレモニーホール (光明殿)
- 昭和区 八事セレモニーホール (遍照殿)
- 瑞穂区 新瑞セレモニーホール (安楽寺会館)
- 名東区 平和ヶ丘セレモニーホール (瑞光寺会館)
- 名東区 名東てんれいホール (めいとうてんれいホール)
- 中区 大須セレモニーホール (極楽寺ホール)
- 中区 東別院セレモニーホール (洞仙寺ホール)
- 中区 新栄セレモニーホール (宗円寺ホール)
- 天白区 植田セレモニーホール (平田院ホール)
- 守山区 守山・長久手セレモニーホール (聖徳寺会館)
- 東区 東セレモニーホール (養寿院ホール)
- 千種区 星ヶ丘セレモニーホール (大東殿)
- 緑区 緑・豊明てんれいホール (みどりふれあいホール)
- 南区 南てんれいホール (みなみてんれいホール)

葬儀費用20%OFF 愛知県印刷工業組合 指定葬儀社 ALL TIME SUPPORT SYSTEM

0120-052-091

中日典礼株式会社

名古屋市中区平和2-1-1
U R L http://sougi-annai.co.jp
E-MAIL info@sougi-annai.co.jp

訃報 大河内信行氏逝去

全印工連顧問・愛印工組顧問

中小企業の発展に尽力

全日本印刷工業組合連合会顧問、愛知県印刷工業組合顧問、大信印刷代表取締役会長・大河内信行氏が8月16日逝去された。享年85歳。

通夜は8月19日午後7時から、告別式は20日午前10時から名古屋市千種区のいちやなぎ中央斎場「春夏秋冬の間」において社葬にて執り行われた。

葬儀委員長は各務芳樹竹田印刷代表取締役会長、喪主は江端茂義大信印刷代表取締役社長。

大河内信行氏は、大正13年生まれ。昭和14年名古屋市立第三尋常高等学校卒業後、25年に大信印刷所を創業。翌26年に株式会社に改組。平成13年からは代表取締役会長の職にあった。

大河内氏は、昭和56年5月から平成11年5月まで、愛知県印刷工業組合の第9代理事長を務めるなど、昭和38年に理事に就任したのを皮切りに業界団体の要職を歴任、中小印刷業界の指導に尽力し、印刷業界の振興発展に貢献した。



いちやなぎ中央斎場での社葬

特に、昭和56年から平成14年まで、全日本印刷工業組合連合会の副会長として、第二次から第四次構造改善計画事業の策定及び推進に取り組み、中小印刷業界の近代化促進に力を注いだ。

更に、印刷業界が一層発展するためには、印刷業界各団体の連携と団結強化が必要との信念から、(社)日本印刷産業連合会の設立に尽力、設立以来常任理事として、日印産連の基盤強化に努力を傾注した。また、平成5年から全国中小企業団体中央会副会長、平成13年から平成15年まで、会長を歴任し、印刷業界のみならず、全国の中小企業の振興・発展に貢献した。

これらの功績により、昭和60年に藍綬褒章、平成16年に旭日中綬賞を受けた。

在りし日の大河内氏

「旭日中綬賞受賞祝賀会」で！



旭日中綬賞受賞祝賀会で挨拶する大河内氏

平成16年春の叙勲で旭日中綬賞を受け、受賞祝賀会が開催されました。政官財界からの要人をはじめ、中小企業団体、印刷関連業界から250名におよぶ人々が駆けつけ、同氏の受賞を祝福しました。

祝賀会の席上、大河内氏は「旭日中綬賞という大変に高い叙勲を頂戴しました。昭和38年に印刷工業組合の理事に就任し、中小企業運動に足を入れてからちょうど40年になります。その間、全印工連、全国中央会で仕事をさせていただいてきましたが、段々と仕事がハードになり、とてもそれに耐えられる状況ではなくなって、一時期、体調を崩してしまいました。全ての役職を引かせていただき、回復に努めたところ元気を取り戻しました。本日こうして皆様方の前でお礼の言葉を申し上げることができることを感謝申し上げます。これまで私がいろいろなことを行わせていただいたのも、皆様方のご指導、ご鞭撻があればこそ可能になったわけです。私1人では何もできませんでした。受賞できた叙勲は、皆様とともにいただいたものと思っております。今後も健康に留意しながら、社会のため、業界のために尽力してまいります」と挨拶を述べ、これからも大いに活躍されることを誓われました。あれから5年、まだまだ活躍していただきたかったのに、残念でなりません。ご冥福をお祈りいたします。

(社)日本印刷産業連合会

印刷業界の新しいキャッチフレーズ

「Printomorrow～明日のいいこと、印刷から～」

(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)が募集していた印刷業界の新しいキャッチフレーズが「Printomorrow～明日のいいこと、印刷から～」に決定した。キャッチフレーズは、前向きな思いと未来への姿勢を示すイメージが評価された。また、「2009年『9月印刷の月』PRポスターデザイン」の入賞作品も決定した。

キャッチフレーズ及びPRポスターデザインの表彰式は、9月16日に開かれる「9月印刷の月」記念式典の席上で行われる。

新キャッチフレーズ

日印産連は、印刷産業の普及PR活動の一環として、産業界のイメージアップを図り、より多くの人々に身近に感じてもらうため、今年4月から6月にかけて新キャッチフレーズを公募した。

公募にあたっては、印刷産業について、一般社会の人々や印刷産業に従事する人々がどのようなイメージを抱いているのかを知る、また、公募を通じて印刷産業に対する理解を深めてもらうことも目的とした。

応募総数が5613作品(前回は4086作品)。

厳選な選考が行われた結果、岩井みのり氏(フューチャーワーズ/東京都)の「Printomorrow～明日のいいこと、印刷から～」が最優秀賞に選ばれた。今後4年ほどにわたり、「9月印刷の月」など、日印産連主催のイベントの周知ポスター、パンフレット、及び会員団体の諸行事の印刷物に利用していく。

【最優秀作品のコンセプト】

Printomorrow(プリントゥモロー)は、「print=印刷」と「Tomorrow=明日」による造語。先の見えにくい今だからこそ、まず印刷業界から、まだ見ぬ明日を、新しい価値をくつきりと発信していく。更に、printは「印象づける」という意味があるように、社会が進むべき方向、将来を印刷で明確に刻みつけていく。そんな前向きな思いと、未来への姿勢をあらわした。

【その他の入賞作品】

優秀賞2点/「印刷で広がる社会つながる未来」、「印刷にあふれるエコの知恵と夢」

佳作3点/「e-風、e-印刷、e-未来」、「印刷で伝える喜び、伝わる感動」、「印刷でつながる世界つなげる未来」

印刷の月PRポスターも決定

同じく募集した2009年「9月印刷の月」PRポスターデザインは、応募

点数・一般部門78点、学生部門・22点の応募があった(今回は両部門合わせ52点)。

7月13日に選考会を行い、入賞作品を決定。最優秀賞には、榊博文社(大阪・全印工連所属)の企画開発チーム(制作者/松畑哲司、黒田智詠、安部育子の各氏)が受賞した。

【最優秀作品のデザインコンセプト】

印刷のない生活。印刷のない生活がどれほど不便で、味気ないものかを表現した。私たちの生活において、印刷は密接に関係しており、切っても切り離せない存在になっている。

何気なく見ている印刷物には、意外と重要な情報が含まれており、その必要性を直感的に感じてもらえるようなデザインにした。雑誌の表紙を連想させるシンプルなデザインにし、メッセージが伝わりやすいように工夫している。



印刷の月PRポスター

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社
www.toyoink.co.jp

中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

「下請代金法トップセミナー」

～コンプライアンスの確立に向けて～

厳しい経営情勢が続く中、依然として「下請代金支払遅延等防止法（下請代金法）」の違反事案が見受けられ、平成20年度には、違反事業者8,329社に対し書面警告が発出され、1,004社（2,472社）に対して改善指導が行われました。そのうち、不当減額や支払遅延などを行った270社に対しては、過去最高額となる約12.5億円の返還などの措置が取られました。

そこで、経営者層を対象に、下請適正取引の根幹である「下請代金法」の内容などを今一度理解してもらおうと、企業内への周知徹底・意識醸成をはじめとして、コンプライアンスを意識した経営の舵取りを行うために、「下請代金法トップセミナー」を開催します。

<開催概要>

開催日時 = 11月12日(木)、14.00～16.00

開催場所 = 愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 名古屋市中村区名駅4-4-38

講義内容 = 下請代金法や企業間取引紛争解決に精通した弁護士などによるポイント解説。

下請代金法の概要・法令解釈、下請代金法の運用状況、その他、下請け適正取引に関する情報、質疑応答（講義時間：約2時間30分）

定員 = 各会場100名程度（受講申し込みは先着順とし、定員になり次第締め切ります）

受講対象 = 中小企業・大企業のトップマネジメント（経営者・執行担当部長などの管理職クラス）及び業界団体の役員クラス

受講料 = 無料



出版社 / 印刷出版研究所

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴

巻町534川尻ビル TEL03(5155)7925

FAX03(5155)7930

事務局だより

愛印工組の近くに、日用雑貨を扱うリサイクルショップ、古着屋、中古カメラ屋、楽器屋、花屋、ギャラリーなど、結構ありますので、休み時間に覗いたりします。どの店も、それぞれに独特の個性を持っており、ひやかしに行っても退屈しません。商売として成り立っているのが、余計な心配をしたりしますが、ぼろ儲けとまではいかないまでも、「そこそこ商売しています」という。愛印産連のセミナーで、講師を務めた大平先生の話ではありませんが、街から無くなってしまった商売が多い中で、頑張っているこうした店を応援したくなり、今日もどこかの店に顔を出してみようと思っています。

日印機工から「Japan Color」についての取り組みをまとめた報告書が届きましたので、改めて紹介しました。品質基準を確立するためにも取り組むべき制度であると思います。一読ください。

新刊書紹介

印刷営業マン必読の書

「今日からできる営業マン！」

著者 / 五十幡喜彦（アトリエアイ主宰）

「売上を上げたい、顧客に喜ばれる仕事をしたい、できる営業マンになりたい」など、意気込みはあるにもかかわらず、なかなか思うようにはいかない。それは、意気込みとともに必要なノウハウが欠けているからである。長年、自ら印刷営業の一線で活躍、今も多くの営業マンの指導にあたる筆者が、印刷営業の基礎から応用まで極意を公開。これから印刷営業に取り組む人に最適な入門書である。

今までのやり方ではなぜ駄目なのか、顧客を掴んで離さない秘訣とは、そして、本当の提案型営業を実践するための発想法とは。新人は勿論、営業経験をつんだベテランにも役立つ一冊。

A5判本文192ページ

定価 / 本体2,000円 + 消費税

あいちの印術

発行人

編集

発行所

〒461 - 0001

No.454

平成21年9月10日発行

高井 昭 弘

組織・共済・労務委員会

愛知県印刷工業組合

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962 - 5771

FAX 052 951 - 0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp